

ふじやまだより

第9号

発行 2003年

9月15日

本郷

ふじやま公園

運営委員会



ふじやまのお月見会

広報部会 相原雅夫

● 今月7日午後3時から夜にかけて、『小岩井家の古民家でふじやまを眺め、お月様と話しませんか!』のキャッチフレーズでお月見会が開催されました。

古民家の縁側には大きな花瓶に生けられたススキなどの秋の花とならんで里芋、なす、やさつまいもなどの野菜が供えられて雰囲気盛り上げました。

庭では野点が行われる一方、主屋の中では篠笛、コーラスとストリング、詩吟剣舞、尺八、琴・三味線・十七弦の演奏がつぎつぎと行われました。

夜は生憎の曇り空でお月様は雲の中でしたが、一袋100円のお団子が売り出されるとあっという間に売り切れました。また囲炉裏に火が入っていた方が良かったという声も聞かれました。

その場で投句して互選した俳句では、須賀さんの

古民家の 土間に佇み 母惚ぶ

の句が一番多く得票しました。

今回は初めて夜まで開園しましたが約150名のお客様が来園されました。





部会便り

古民家歴史部会

古民家の茅葺き流派の概要

古民家歴史部会 田代 真治

本郷ふじやま公園の古民家の茅葺きは 前号で紹介いたしましたように筑波流の「茅葺屋根保存協会」が施行してくれました。茅葺きの流派は職人の出身地によって築波流・会津流・越後流・甲州流・紀州流・藝州流・丹波流・野川流（神奈川県）などがあります。

このような流派によって使用する道具の形状、使い方、縄の留め方、材料の使い方、軒や棟・棟飾り、屋根面の曲線や刈り方、屋根の維持方法などに相違があります。

これらの職人は、かつては冬季の出稼ぎでありました、関東では会津茅手が有名で、江戸中期にはよく知られ、戦前まで広範囲に葺き歩いていました。

当時は農閑期の余業の中では最高の現金収入があり、重要産業でした。

関東周辺の茅手は会津流の流れを汲んでいると云われています。

茅葺き屋根の勾配は一般にかね矩勾配（カネコウバイ）45度、緩いものは8寸勾配（38度）で、これ以下では水切りが十分でなくなり雨漏りが生じます。

農芸部会

花や野菜と話しませんか

農芸部会 川崎展子、遠山 隆



遅かった夏も、自然はもう秋色に変わりつつあります。丹精こめた花壇には、秋明菊、しゅうかいどう、秋桜、女郎花、吾亦紅、等等の秋の七草も咲き始めました。古民家でのお月見の会には花壇の吾亦紅が秋草と共に活けられ、畑のサツマイモや里芋をお供えし月の出を待ちました。

日本の花を主に、山野草や珍しい花、同種の色違い、斑入り、変わり咲き、等を集めました。くつろぎと語らいの場にしたいと思います。

畑の作物は、今夏の長雨・日照不足にも拘わらず生育良好で稔りの秋を迎えました。

晩秋に予定している「ミニ収穫祭」には、市民の皆様への還元の意味合いからも、手作りを味わっていただく部会員一同精を出しています。

因みに今は量は別にして次のような作物が植わっています。

サツマイモ、里芋、落花生、ネギ、大根、白菜、人参、蕎麦、食用菊、唐辛子、ウコン、古代米（赤米）、…



工芸部会

夏休み子ども竹細工

工芸部会 宗森 英夫

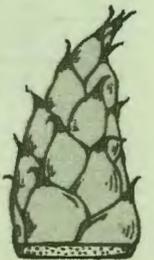
8月24日(日)に行われた「子ども竹細工教室」では、夏休み中ということもあって大勢の親子連れが参加した。竹の太い、細い、長い、短いなどいろいろなサイズに切ったパーツを組み合わせて、ウマ・イヌ・キリン・ウサギなど様々な動物が作られた。中にはロケットを作った男の子がいたり、竹とんぼ作りに夢中になるお父さんがいたり、楽しい雰囲気があった。工作棟の前に張られたテントでは、竹で水鉄砲を作って遊んだり、孟宗竹で竹ポックリを作って楽しんだ。一人で三つも四つも作品を作りビニール袋に入れて大事そうに持って帰る子ども大勢いた。

里山部会

竹林手入れについて学習

里山部会 永田 隆一

竹は生長が速く、1週間から10日位で筍から一気に15m以上の親竹になってしまう。普通の木が10m以上の高さになるには何年もかかる。したがって、竹より成長の遅い普通の木は、竹に取り囲まれると日当たりが悪くなったり、竹に養分を盗られたり、竹藪の中で立ち枯れしてしまう。しかも、竹は地下茎でどんどん広がっていくので、他の植物は席を譲り渡してしまう。竹に勢力争いに負けて、他の植物が次々と姿を消し、竹だけが残る。いったん竹藪になった所へは、他の植物はなかなか入っていけない。そこで、人間が適当に手を加えて管理しないと山は竹の天国になる。そんなことで、竹林の管理・手入れには、やっかいなことがたくさんある。竹の性質をよく理解した上で、竹と付き合っていく必要がある。



いろり守の会

或る日 いろり端での会話

いろり守の会 炉山人

- 来園者 『火はいいなあ。心が安まる。』
 炉山人 『・・・・・・・・・・。』
 来園者 『この囲炉裏は、月に何回焚いてんの?』
 炉山人 『三回。第二水曜、第三日曜、第四木曜の三回。』
 来園者 『その程度じゃあ、建物をいぶすところまで行かないねえ。』
 炉山人 『うーん。まあそうなんですけど、なかなか火守をやってくれる人がいなくて世の中皆、忙しい。』
 来園者 『↑(こころ)を亡(な)くすと書いて、忙しいと読む。自慢することじゃあない。』
 炉山人 『・・・・・・・・・・。』
 来園者 『ああ、火はいい。落ちつくなあ。』
 炉山人 『はい。』



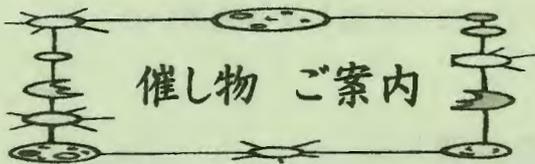
いろり守の会では会員募集中です

10月のいろりの焚火の日 10月8日(水)、10月19日(日)、
 10月23日(木) (時間 9:30~12:00)

入会希望の方は上記いずれの日に公園母屋のいろり端までお出掛け下さい。詳細はその際説明させていただきます。

いろいろ雑記

- ・曇り空でしたが野七里から歩いて参りました。田舎に在った品々とよく似ていて、とても懐かしく童心にかえって見させていただきました。いつまでも大切にしたいものですね。 N.T, (76歳)、T.T (68歳)
- ・いつ伺っても心が癒されて、日頃の疲れもこの旧小岩井家に上がらせて頂きますと癒され、時間をつくれば、すぐにでも伺えるので嬉しく思います。 M.N



教室名	染色教室 (全4回)	七宝焼体験教室
1 月日時	11月11日(火)、12月9日(火) 平成16年1月13日(火)、 2月10日(火) 午後1時~4時	11月13日(木) 午後1時~4時
2 内容	草木染 (ザクロ、クルミ他)	チョーカーを作る
3 定員	12名 (応募者多数時抽選)	12名 (応募者多数時抽選)
4 参加費	2000円程度 (材料費)	700円
5 申し込み	往復ハガキに必要事項を書いて、本郷ふじやま公園へ。 10月31日(金) 必着	同左



みんな来てね!!

お月見俳句会入選句

- ・古民家の 記憶抱き合う 月の宴
- ・古民家に すすきが映ゆる 月見かな
- ・古民家の 障子を外し 月の宴
- ・ふじ山の おらが民家に 月登る
- ・かやぶきの 門よりもれる 月の宴
- ・芋に根の つきたるまをを 供えけり
- ・篠笛の もれくる庭に 月登る
- ・古民家の 庭にコスモス 秋盛り
- ・琴の音に さそわれいでむ 秋の月

室 昌子
佐々木和彦
園部光代
相沢志万子

遠山 隆
相沢志万子
田村美也子
鈴木順子

(順序不同 敬称略)

◆ 本郷ふじやま公園 運営委員会

〒247-0009
栄区鍛冶ヶ谷 1-20
Tel: 896-0590
Fax: 896-0593

◆ 緑政局中部公園 緑地事務所

Tel: 711-7802
Fax: 712-6260

古民家ゾーン ご利用案内

- ◎開館時間 : 9:00~17:00
- ◎休館日 : 毎月第1水曜日 (祝日の場合はその翌日)
- ◎入館料 : 無料
- ◎最寄のバス停 : 中野町又は鍛冶ヶ谷町 (神奈中バス)